

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【公開番号】特開2012-108071(P2012-108071A)

【公開日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2010-258716(P2010-258716)

【国際特許分類】

G 0 1 R 21/00 (2006.01)

G 0 1 R 21/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 21/00 Q

G 0 1 R 21/06 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日 (2013.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

また、電圧出力端部 8 0 の出力電圧  $V_{out}$  を利用して電力情報  $P_I$  が生成される。入力電圧  $V_{in}$  は例えばトランジスタ 3 1 や電力線 5 に接続された他の装置の動作によるノイズを含む場合があるのに対し、出力電圧  $V_{out}$  は電源回路 1 0 によって生成された安定的な電圧である。かかる安定的な電圧  $V_{out}$  を利用して電力情報  $P_I$  を生成することにより、電力情報  $P_I$  の確度を向上させることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 1】

データ出力端部 9 2 は電力線 5 (図 1 参照) から受信したデータ  $D_r$  を取り出すための部分である。例えば本体回路 2 (図 1 参照) が電源装置 6 D を利用して  $P_L C$  を行う場合、データ出力端部 9 2 は本体回路 2 に接続される外部接続端部にあたり、データ出力端部 9 2 を介して本体回路 2 へ受信データ  $D_r$  が与えられる。

【手続補正 3】

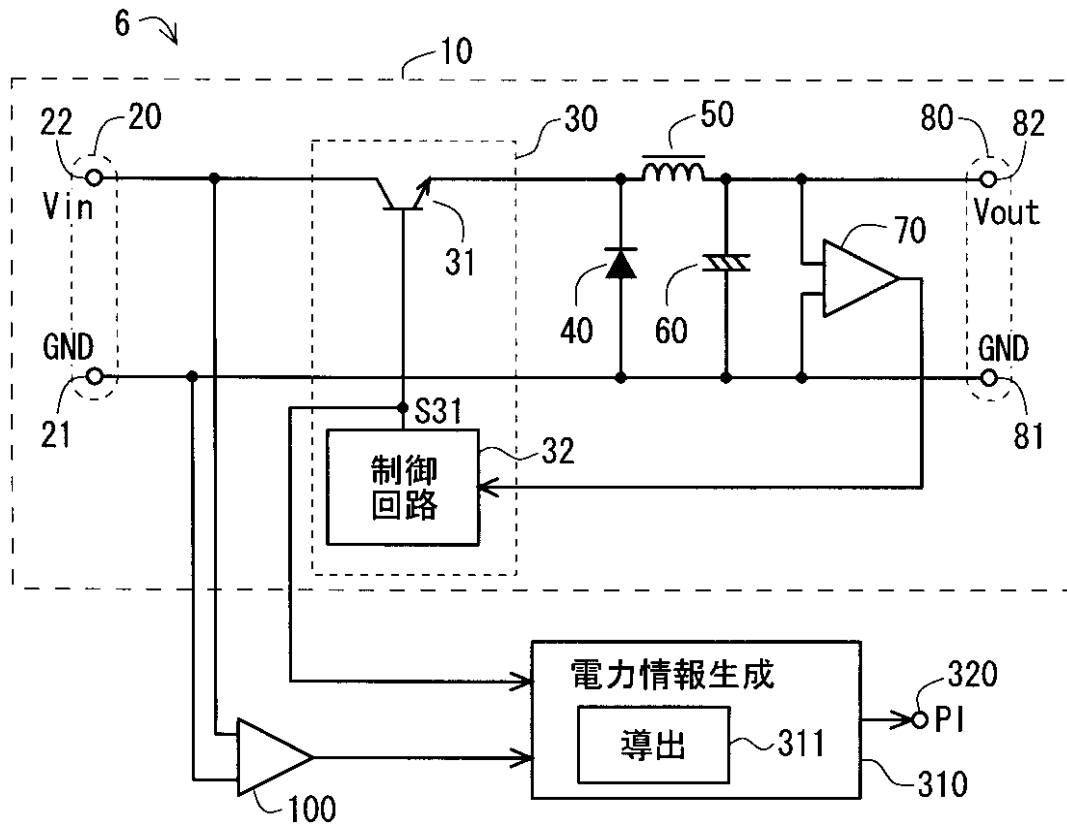
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 4】

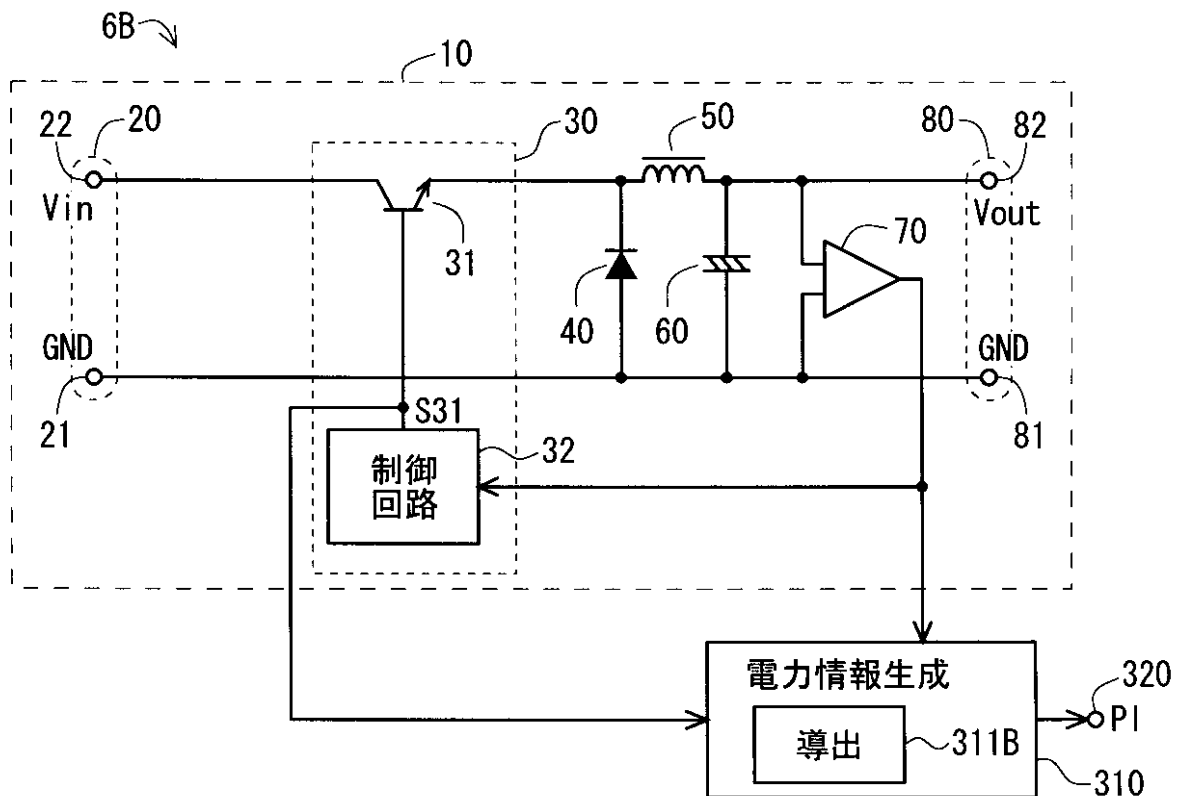
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】



## 【手続補正 5】

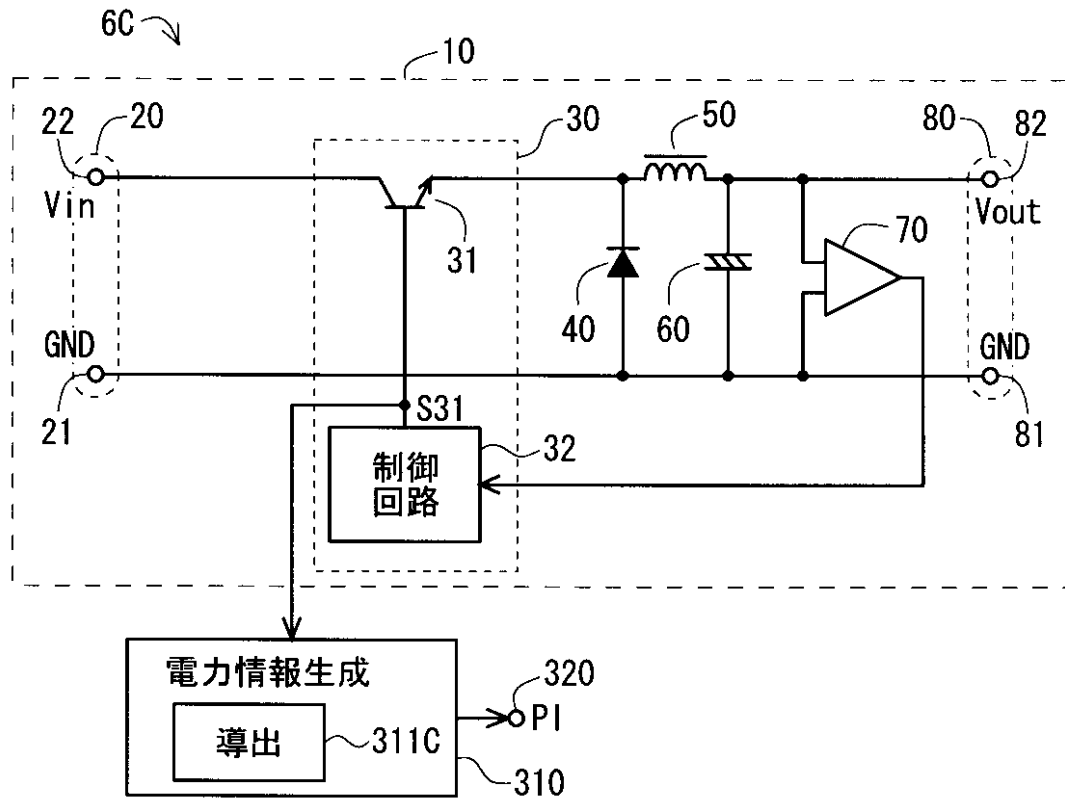
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



## 【手続補正 6】

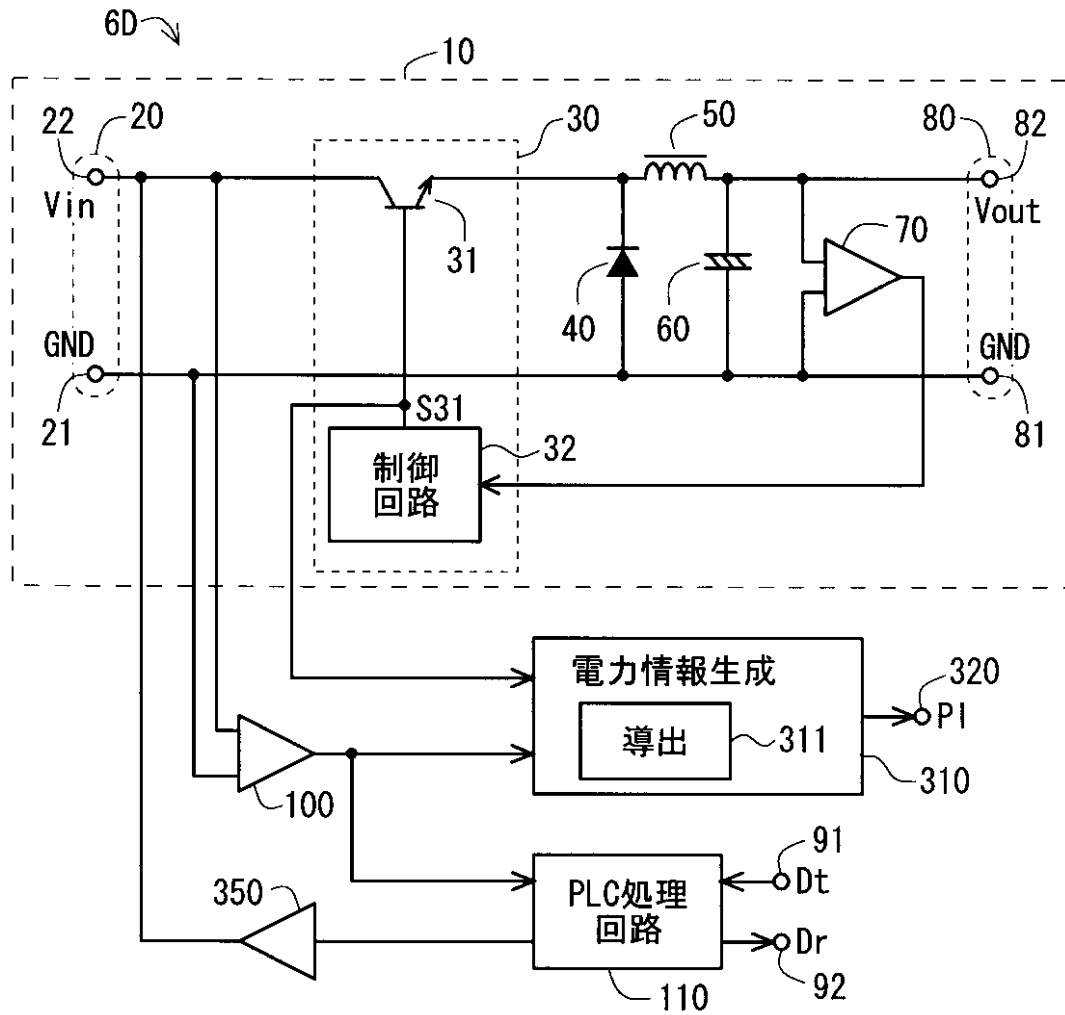
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】



【手続補正 7】

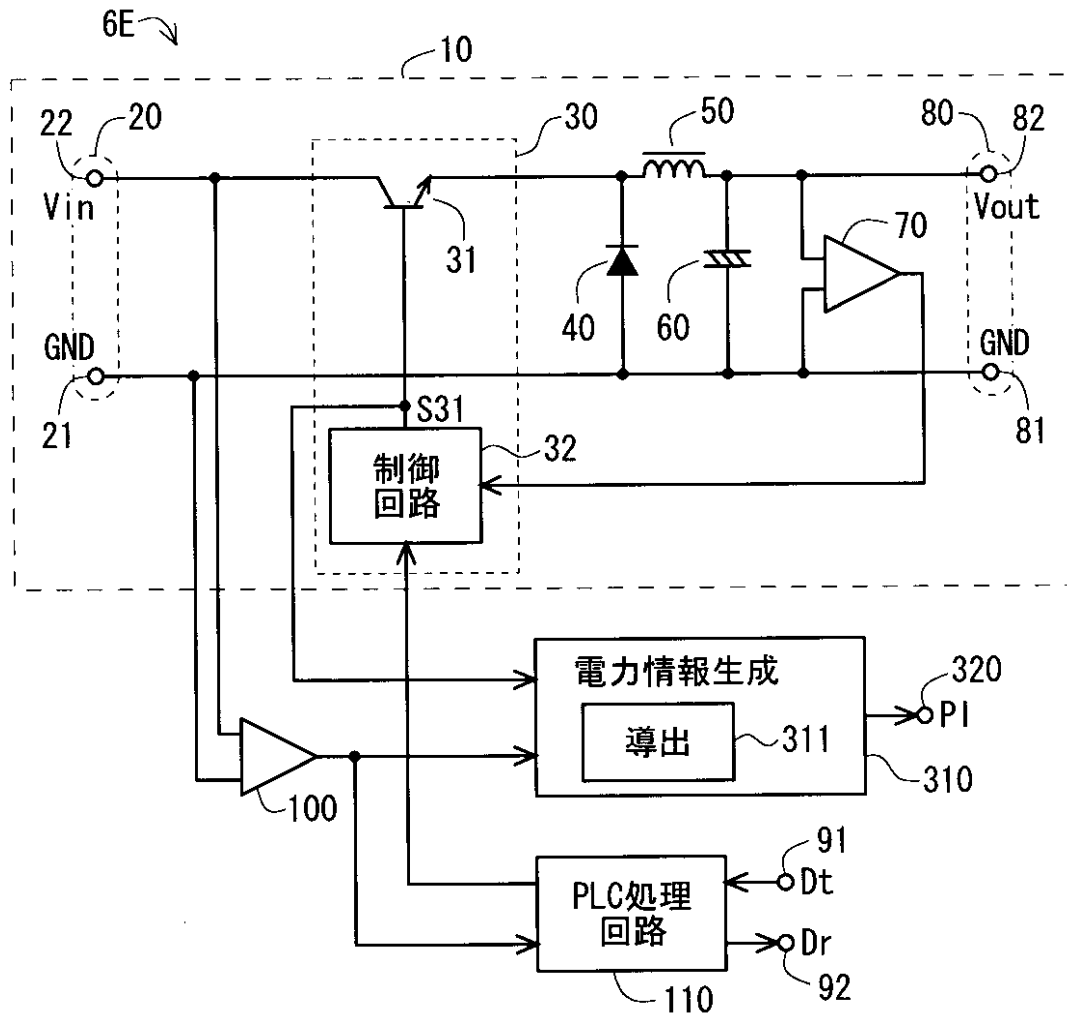
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】



【手続補正 8】

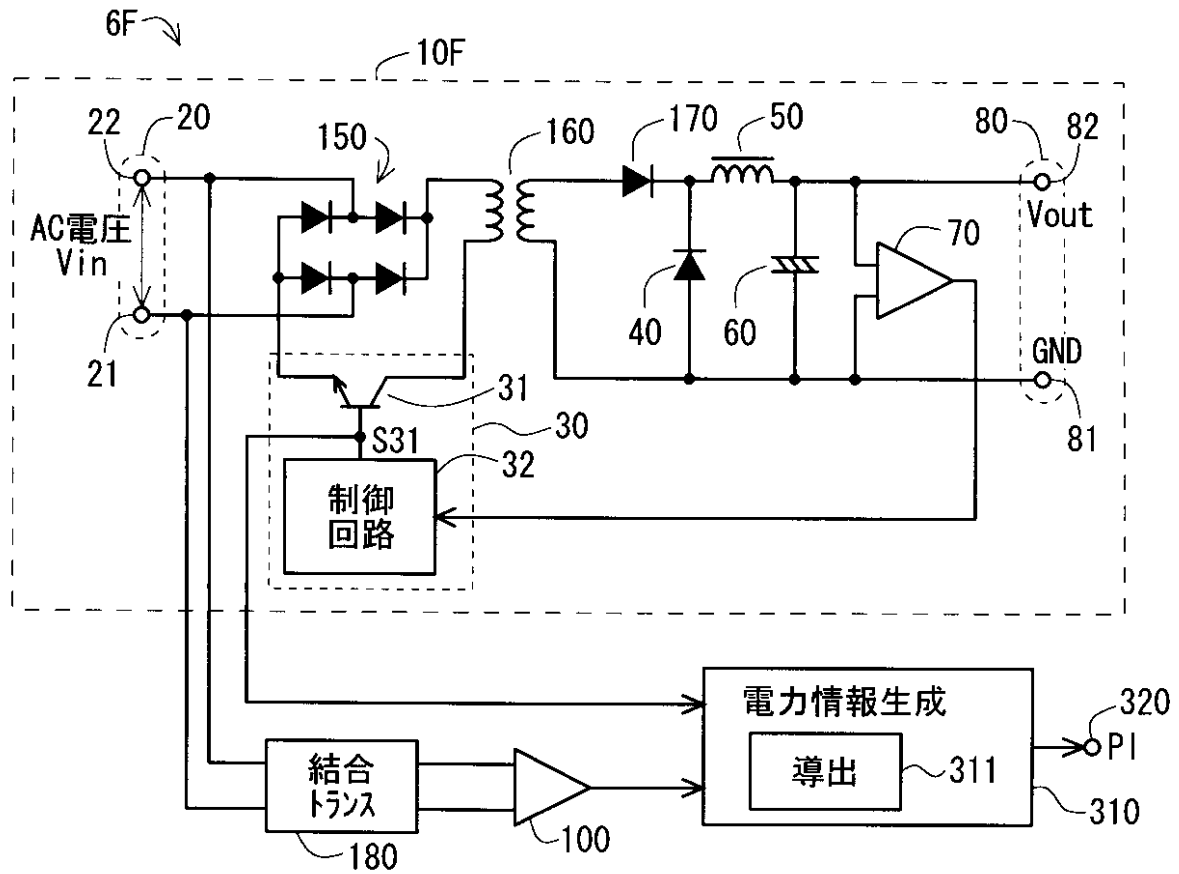
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】



【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図10】

